

沖縄防衛局

主な採用区分

電気・電子・情報、機械、土木、建築

電気・電子・情報、機械、土木、建築区分の主な業務



01

01 防衛局で技術職採用となると、主に「防衛施設」の建設工事に従事する。

採用された試験区分に応じて、土木区分であれば自衛隊の活動拠点となる駐屯地や飛行場等の土木工事を、建築区分であれば職員が勤務する庁舎や航空機格納庫等の建築工事を、電気・電子・情報、機械区分であればそれぞれの施設の通信設備や機械設備等の工事を担当する。



02

航空機整備場



滑走路



レーダー施設



航空機掩体（耐弾格納庫）

02 「防衛施設」とは、自衛隊及び在日米軍の活動拠点として使用するための施設のこと。

防衛局の技術職の大きな魅力は、自衛隊の航空機の離発着に使用する「滑走路」や我が国の周辺を飛行する航空機を監視するための「レーダー施設」など、防衛省ならではの特殊な施設の建設工事に携われることである。



①施設計画



②調査・設計



③建設工事



④完成検査

03 実際の業務は、「防衛施設」のユーザーである自衛隊や在日米軍等の関係機関と施設の配置などの全体計画を調整し、計画が定まると、建設工事に必要な各種法定手続きや測量等を行い、施設の設計図面を作成する。工事が開始されると、実際に監督官として現場に赴き、工事の進捗状況の確認や品質管理を行う。工事が完了すると、設計のとおり作成され要求される性能等が満たされているか完成検査を行い、最終的にユーザーへ施設の引き渡しを行うまでの「防衛施設」の計画から完成までの一連の流れを担当する。

先輩職員に聞く仕事の魅力！

調達部建築課係員

入江 大智

2020年 近畿中部防衛局採用（建築区分）

2022年 沖縄防衛局 異動



建築課では、自衛隊/在日米軍が運用する防衛施設の積算、設計及び監督を行っており、病院や学校、射撃場等の大規模な施設にも携わっています。

ユーザーにとって、災害時等に早急に対応できるような働きやすい環境の防衛施設の完成を目指し、日々業務に取り組んでいます。

防衛施設の完成までに、工事業者等と工程や問題点の調整及び現場の確認、検査を行い、自身の技術力を活用していく過程が楽しく、やりがいを感じます。ユーザーが実際に施設を使用している姿を見ると、自身も間接的に国を守っているという防衛省職員としての実感を味わうことができます。

ぜひ、自身の技術力を活用して国防に従事してみませんか。

■お問い合わせ先

沖縄防衛局総務部総務課人事担当

〒904-0295 中頭郡嘉手納町字嘉手納 2 9 0 - 9

TEL : 0 9 8 - 9 2 1 - 8 1 4 0 FAX : 0 9 8 - 9 2 1 - 8 1 6 5

<https://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/>

